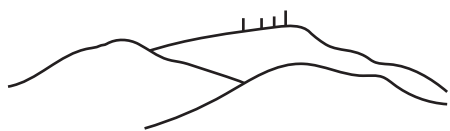


# Youth Manna

2022/3/14 - /3/20



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/3/14(月)

## ヤコブ 5:13-20

15-18節を読もう。君が抱いている祈りのイメージと、この箇所にある祈りを比べてみるとどうだろうか？

その人の祈りが力ある大きな働きをするかどうかは、信仰が鍵となる。もし自分の罪をそのままにすると、信仰は小さくなり、神様との関係も弱まってしまう。そうすると、祈りにも力が無くなってしまふよね。だから、罪だと気付かされたことがあれば、隠さず悔い改め祈るようにしよう！

手紙の最後に、19,20節では、教会から離れた人のためにどうすべきかが書かれているね。君の周りでは、そのような友達はいらぬだろうか。その人のために心を動かすことは、友である君に神様が願われ期待されていることだね。神様の愛の目的のために、自分を用いてくださいと祈ろう！

2022/3/15(火)

## ゼカリヤ 1章

「ダレイオスの第二年、第八の月」それはバビロンから帰還したユダの民が神殿建設に着手して2ヶ月が経った頃のことです。この時、目の前の困難から人々の心は早くも折れかけていました。そのために神様が遣わしたのが預言者ゼカリヤでした。神様はゼカリヤを通して、励ましを与え、神様の大きな救いの計画を明らかにされます。

神様は民に「わたしに帰れ」と、根本的に主に立ち返るように言います。そして神様は、かつてエレミヤが告げた70年後の回復は確かななされると、慰めのことばを告げます。さらに、第二の幻(18-)で、イスラエルの敵に対しても主の計画と備えがあることを示されました。

私たちの人生も神様の御手の中にあることを覚えよう。もし挫折やつまづきがあれば、まず心を開いて神様に近づこう！

2022/3/16(水)

## ゼカリヤ 2章

第三の幻において、ゼカリヤは測り綱を持った人がエルサレムの周囲を測りに出て行くのを見ました。

城壁は敵から自分を守るために必要なものだよね。しかし神様は、神様ご自身が火の城壁となってエルサレムを守ると語られました(5)。それだけではなく、人が自分の眼を守るように、神様がエルサレムを守るのだと宣言されます(8)。神様がご自分の民をどれほど愛して大切に思っておられるかが伝わってくる箇所だね。

時に、多くの問題が自分を取り囲んでいると感じるかもしれない。だけど、実は神様が自分を取り囲んでくださっている、君を守ってくださっているということ信じよう。みことばを受け取り、信じて出ていこう！

2022/3/17(木)

## ゼカリヤ 3章

今日の箇所はゼカリヤが見た幻の一つで、サタンによって大祭司ヨシュアが訴えられている法廷の場面である。サタンは、ヨシュアが汚れた服を着て、主に仕えているので大祭司にふさわしくないと訴えている。汚れが何かははっきりとは記されていないが、ヨシュアの罪と考えられる。

しかし神様は汚れた服を脱がせ、礼服ときよいたーバンを与え、ヨシュアをきよめられた。そして今の私たちには、神様によってイエス・キリストという十字架のきよめが与えられている。

罪にまみれたとしても「もう駄目」となる必要はない。悔い改めることによって神様は私たちに真っさらな服を与えてくださる。神様の愛に応えよう！

2022/3/18(金)

## ゼカリヤ 4章

ゼカリヤが見た幻は、金の燭台と二本のオリーブでした。その意味を理解できないゼカリヤに、御使いは「権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって」と告げます。

神殿建設を指揮する総督ゼルバベルは山積みの困難に絶望していましたが、この働きは人間の力によってではなく、神によって成し遂げられることが伝えられます。燭台とは闇に光をもたらす灯りです。この「金の燭台」は世界を照らす神の栄光の象徴であり、その左右にある二本のオリーブの木は「二人の油注がれた者」、つまり総督ゼルバベルと大祭司ヨシュアのことです。人々の心を神に向けさせ、霊的な回復を与えるために神様が立てた器がこの二人であったということが明らかにされています。

私たちにも神様の大きな計画があります。しかし、それは自分自身の力で成し遂げることではありません。今日、神様に心に向け、神様が自分を通して御業を成してくださることを願って出よう！

2021/3/19(土)

## ゼカリヤ 5章

5章には、飛んでいる巻物と、出て行くエパ升の幻が書かれています。大きな巻物には律法が書かれていて、その律法によって、全地の罪となる者が裁かれ取り除かれると書いてあるね。もう一つはこれもまた大きいエパ升で、「邪悪そのもの」と言われる女ごと閉じ込め遠くの地に持っていかれるという。

私たちは、自分の罪や失敗をできることなら隠したり、なかったことにしたいと思ったりする弱さがあるね。だけど、神様に知られていないことは一つもなく、そのままにしていればいつか必ず裁かれる時がくる。

ただ、その罪に向き合い、悔い改める時、神様は赦しその罪を打ち砕いてくださるお方だね。今、自分の心に運び去られるべき罪はあるだろうか？もしあったらそれを正直に告白して悔い改めよう！そして赦しを受け取ろう！

2021/3/20(日)

## ゼカリヤ 6章

若枝はキリストを指す言葉であり、このキリストが王として、「主の神殿を建て、彼が威光を帯び、王座に就いて支配する」と宣言しています。壮大で人の思いを遥かに超えた幻と預言は、神殿再建の途上において、とても励ましとなりましたが、現実的には神殿の再建に苦勞し、山のような瓦礫(がれき)を前にくじけそうになっていました。

同じように、聖書が語られている約束と、現実にかかる出来事や困難を前にしたとき、私たちの視線は、心はどこに向いているでしょうか。「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。」(ヘブル 10:25) 私たちの希望は天に、イエス様にあります。

どんな状況にあっても、希望であるイエス様から目を離さずに歩むことができるように祈ろう！